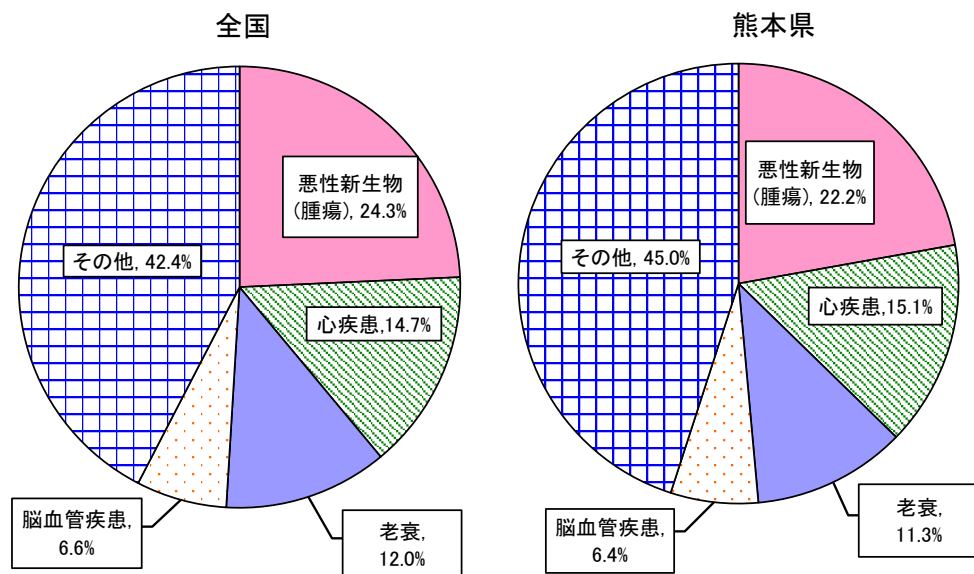


死因別死亡者数構成比（令和5年）



解 説

【概要】

令和5年の県内死亡者は24,265人で、死亡率は14.4‰であった。死因別に内訳をみると、もっとも多いものが悪性新生物（腫瘍）の5,380人、次いで心疾患の3,678人、老衰の2,732人、脳血管疾患の1,560人と続いており、死因上位の4つで全体の55.0%を占めた。

○死亡者数

1月から12月の1年間に届けられた死亡者数。

○心疾患

心不全、急性心筋梗塞、高血圧性心疾患などをいうが、ここでは高血圧性心疾患は含めていない。

○脳血管疾患

くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞などが含まれる。

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「人口動態調査」 厚生労働省	令和5年	毎年